

**第59期生**

# **読売育英奨学生募集要項**

---

◆卒業までの学費を全額立替

◆返済不要の奨学金は最大520万円

◆住まいは無料の完全個室

# 読売育英奨学会って？

## ほかの奨学金制度とどう違うの？

近年では奨学金が返済できないという問題が深刻化していますが、  
読売育英奨学会なら在学中も卒業後も返済の必要はありません。（※限度額あり）  
読売育英奨学生制度は、新聞配達などの業務に就きながら、  
学生生活に必要な学費の立て替えを行っている、奨学金制度です。

**YC**とは、読売センター（読売新聞販売店）の略称です。



YCについてはコチラから

### 奨学金額（返済免除額）<sup>(※1)</sup>

進学に必要な入学金、授業料、施設費、実習費、諸経費を、読売育英奨学会が学校へ立て替えて支払います。  
学費や志望校、授業形態に応じて、A・Bいずれかのコースからお選びください。  
Cコースは、進学先の授業がYCでの業務に支障がでる場合などに適応され、採用数にも限りがあります。

Aコース	Bコース	Cコース（適用条件あり）
1年制 130万円	1年制 110万円	1年制 100万円
2年制 260万円	2年制 220万円	2年制 200万円
3年制 390万円	3年制 330万円	3年制 300万円
4年制 520万円	4年制 440万円	4年制 400万円

※返済免除額を超えた学費は、奨学会が無利息で立て替えます。但し、超過金分は卒業年度の2月末までに一括でお支払いいただきます。  
※1.各年次の返済免除額は3月末日に適用されます。

#### ◆奨学金対象外の費用（自己負担金）について

選考料、教材費、寄付金、レッスン代、夏期講習料などは自己負担になります。但し、学校指定の納付書の都合で個人払いできない場合は、奨学会が立て替え、その金額を各年度の2月末までにお支払いいただきます。また、予備校は入学金・本科授業料・諸経費のみ奨学金の対象となりますが、単科ゼミ・その他の講習は自己負担となります。

#### ◆途中退会について

やむを得ない事情で奨学会を途中退会した場合、立て替えていた学費は退会時に一括でお支払いいただきます。但し、在会1年を経過後に途中退会する場合、立て替え金額から、在会年数、コースに応じた返済免除額を差し引いた金額を一括でお支払いいただきます。

## コース毎の業務一覧

安定した給与体系、卒業記念品などが充実しています。Aコースなら社会保険にも加入できます。家賃がかからない分、給与の収入だけでも十二分に生活でき、ゆとりのある学生生活が送れます。

	Aコース	Bコース	Cコース(適用条件あり)
業務時間	1日平均 6時間	1日平均 5時間未満	1日平均 4.5時間
業務内容	朝・夕刊の配達業務、購読料金の集金業務、チラシの折り込み、読者PRおよび事務処理などの付随業務	朝・夕刊の配達業務、チラシの折り込み、読者PRおよび事務処理などの付随業務	朝刊の配達業務、購読料金の集金業務、チラシの折り込み、読者PRおよび事務処理などの付随業務
給与 <sup>(※1)</sup>	月 18万8256円	月 14万0580円	月 13万8762円
休日	4週間を通じ 6日	4週間を通じ 6日	4週間を通じ 4日
有給休暇 <sup>(※2)</sup>	年間10日	年間10日	年間10日

※1. 午前2時30分始業の場合の深夜労働割増賃金を含んだ金額(2022年4月実績)となります。

※2. 初年度は半年経過後の付与となります。以後は労働基準法に基づき、付与いたします。

### ◆保険の適用について

社会保険(一部自己負担)、労災保険、自転車・バイク保険に加入します。費用はYCが負担します。社会保険はAコースのみとなりますので、Aコース以外は国民健康保険・国民年金に個人で加入してください。

### ◆記念品について

奨学生卒業年度に、記念品を贈呈します。

※法的に控除されるものとしては、所得税、住民税(2年次～)、朝夕食が用意されるYCでの食費(2万9,000円)、光熱費(使用料金)などがあります。

## 札幌・仙台地区の募集について

札幌・仙台地区でも奨学生を若干名採用しています(大学は文系学科学生に限る)。

学校、学科については 函.0120-430-116までお問い合わせください。

	札幌地区(4年制大学・専門学校)	仙台地区(原則4年制大学)
勤務地	札幌市内を中心とする札幌近郊のYC	仙台市内を中心とする宮城県内のYC
奨学金 <sup>(※1)</sup>	4年間やり遂げた場合の返済免除額 440万円	4年間やり遂げた場合の返済免除額 400万円
業務時間・内容	1日平均 5時間未満 朝・夕刊の配達業務、事務処理などの付随業務	1日平均 4.5時間程度 朝刊の配達業務、集金業務、簡単な契約業務、事務処理などの付随業務
給与 <sup>(※2)</sup>	月 12万0060円	月 10万4964円
休日・有給休暇	休日は4週間を通じ6日、有給休暇は年間10日間 <sup>(※3)</sup> 付与しています。	

※1. 返済免除額を超える金額を立て替えた場合、その差額を卒業年度の2月末までにお支払いしていただけます。

※2. 午前2時30分始業の場合の深夜労働割増賃金を含んだ金額(2022年4月実施)となります。

※3. 初年度は半年経過後の付与となります。以後は労働基準法に基づき、付与いたします。

## 制度加入時特典事項

発足から58年。読売育英奨学会は新聞業界において最も歴史のある奨学金制度です。この制度を利用して、社会へと進出した卒業生は約8万人を超え、その歴史と実績、優位性のある制度内容が、多くの学生たちから選ばれています。



### ①給与

毎月18万円以上(※1)の給与が、安定した学生生活を支えます。



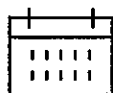
### ②宿舍

冷暖房が完備された無料の個室(YC店舗内かYC付近のアパート)を提供しています。さらに、すべての施設にシャワールームも完備しています。



### ③水道・光熱費

基本料金はYCが補助し、使用料金のみ奨学生本人に負担してもらいます。



### ④休日・休暇

4週6休制(※2)で、年間10日の有給休暇も付与されるので、学業と業務の両立ができ、趣味の時間もしっかりと持つことができます。



### ⑤通学定期

月3,500円までを奨学生本人に負担してもらい、超過分はYCが補助します。(補助額に上限あり)



### ⑥記念品

奨学生卒業年度に、記念品を贈呈します。



### ⑦社会保険(※3)

社会保険(一部自己負担)、労災保険、自転車・バイク保険に加入します。費用はYCが負担します。



### ⑧健康管理

すべての奨学生を対象に、年2回の集団健康診断を実施しているので、安心して学生生活を送れます。費用はYCが負担します。



### ⑨推薦専門学校

読売育英奨学会が推薦する専門学校へ奨学生として入学する場合、入学選考料の免除や特別奨学金の適用があります。



### ⑩サポート体制

入会前も入会後も、奨学会事務局と各地区担当者が、制度の詳しい内容や、応募の際の疑問・質問、進学の問題にも親身にお答えします。



### ⑪就職活動

就職支援セミナーやビジネスマナー講座を開催しています。希望者には読売育英奨学会理事長の推薦状も発行しており、就活を最大限にサポートします。



### ⑫研修旅行

卒業年度には、4年制(※4)すべての奨学生を対象に、研修旅行へと派遣しています。費用はYCと奨学会が負担します。

※1. Aコースのみ。 ※2. Cコースは4週4休になります。 ※3. Aコースのみ。(B・Cコースは各自加入)  
 ※4. 2、3年制の奨学生はYC所長の推薦により選抜し、派遣します。

## 主な業務

YCでの主な仕事内容について紹介します。

### ◆朝・夕刊の配達

読売新聞は購読者が多い分、販売店も多く、配達エリアが他紙と比べてコンパクト。狭いエリアを自転車や原動機付バイクで配達するので、とってもスムーズに業務が進みます。奨学生一人の配達件数は300件前後で、配達に使用する自転車やバイク、ヘルメットなど、業務に必要なものはYCが貸与します。自転車の電動化も進んでいますが、地域によってはバイクでの配達を中心となりますので、YC入店前までに原付免許を取得しておくことをおすすめしています。

### ◆チラシ折り込み

午前2時30分ごろ朝刊を積んだトラックがYCに到着。前日に折込機でセットしていたチラシ広告を新聞に折り込んでいきます。

### ◆広告物のポスティング

指定エリア内に、チラシやカタログなどの広告物をポスティングします。近隣情報を載せた広告物が多く、その地域に密着しているYCだからこその業務です。

### ◆購読料の集金

読者を訪問し、購読料を集金します。月末月初の土曜・日曜を中心に、刊行物なども配布します。銀行振込やカード払いの読者には領収書を配布する場合があります。

### ◆その他

担当する配達区域の順路帳、読者一覧表などを作成する事務処理や、店内の電話当番、掃除当番などの付随業務もあります。  
 ※営業業務は任意です。

## 奨学生の日

奨学生はどのようなリズムで生活しているのでしょうか？  
勉強する時間は？自由な時間は？どんな業務内容なの？  
奨学生の1日を通し、ご紹介します。

奨学生の1日を  
動画でまとめました。



2:30 起床

最初は早起きに苦労していた奨学生も、「読売新聞を待ってるお客様がいる!」という責任感から、スッと目覚められるように。



3:00 朝の業務

朝刊を積んだトラックがYCに到着し、朝の業務がスタート。  
朝刊の配達時間は平均で2時間半~3時間程度です。



5:30 朝食・自由時間

朝食後、自習や課題に取り組んだり、身体を休めたりと、時間を有効に使います。  
食事は基本的に自炊となりますが、朝・夕食のまかない(月2万9,000円)があるYCもあります。



8:00 学校

午前中に授業を多くとったり、1年次から単位上限まで履修したりとそれぞれ工夫しています。  
※通学定期は月3,500円まで奨学生本人が負担し、超過分はYCが補助します。  
(補助額に上限あり)



15:00 夕方の業務

夕刊の配達では、お客様と接する機会も多く、配達先での「ありがとう」や「ご苦労様」の声を励みにする奨学生も。夕刊の配達時間は1時間半程度です。



17:00 夕食・自由時間

奨学生の部屋は完全個室なので勉強や課題にも集中でき、趣味の時間もしっかりと持てます。エアコンやクーラー(構造上、設置できないYCもあります)、シャワーの設備あり。  
水道代・光熱費の基本料金はYCが負担し、奨学生は使用料金を負担します。



21:00 就寝

しっかりと睡眠をとって、翌朝の業務に備えます。  
だいたい21:00ごろに寝る奨学生が多いようです。

## 読売育英奨学会進学アドバイザー

アドバイザーが不在の県は奨学会事務局に担当者がいます。お気軽にお問い合わせください。

■秋田県担当  
櫻尾 順子 [TEL.0187-84-1454]

■宮城県担当  
三浦 地久子 [TEL.0228-34-4047]

■福島県担当  
和田 ユミ子 [TEL.024-921-0138]

■栃木県・群馬県担当  
高橋 正信 [TEL.0285-25-3325]

■東京23区担当  
木村 ふさ子 [TEL.03-3615-6667]

■多摩地区担当  
高橋 靖子 [TEL.042-331-4648]

■山梨県担当  
近江 辰子 [TEL.0553-26-5532]

■新潟県担当  
酒井 美晴 [TEL.025-230-7687]

■九州担当(一部地域を除く)  
宮本 孝壽 [TEL.093-282-2577]

## よくある質問

皆さんから多く寄せられる不安や疑問点をまとめました。  
わからないことは進学アドバイザーや、奨学会事務局に何でも相談してみましょう。

**制度適用校が  
限られているのはなぜですか？**

奨学生は、朝・夕刊の配達業務を行うことが原則です。したがって、授業・実習などが、夕刊配達  
の時間帯と重なってしまう学校、学部、学科には、奨学生制度を適用することができません。

**在学途中でも、奨学生制度の  
適用はできますか？**

例えば、大学、専門学校の2年次以降4月からの  
奨学会入学は可能です。詳しくは奨学会事務局  
にお問い合わせください。編入学の場合も奨学  
会へお問い合わせください。

**バイク(原動機付自転車)の  
免許は必要ですか？**

東京23区内では、自転車での新聞配達を中心  
で、近郊地域になるとほとんどがバイクでの配  
達となります。どのエリアに入店しても対応でき  
るよう、事前に免許を取得しておいてください。

**病気やケガをしてしまった時は  
どうなりますか？**

まずはYCの所長に報告してください。業務中の  
ケガであれば労災保険が申請できます。また、奨  
学会事務局でも各地区の担当者が相談窓口と  
なりますので、お気軽にお問い合わせください。

**学校でのサークル活動や、  
他のアルバイトはできますか？**

学校でのサークル活動(クラブ活動)への参加  
や、YC外でのアルバイトは一切することができ  
ません。

**奨学会入会時に  
連帯保証人は必要ですか？**

奨学会に入会する際、奨学会が皆さんの学費を  
いったん立て替えて学校に振り込むため、学費  
立替依頼書に署名、捺印いただく連帯保証人が  
2人必要となります。

※宿舍のインターネット、Wi-Fi環境はYCごとに異なります。

# 奨学生生活スタートまでの6つのステップ

## ①説明会への参加・面接

制度の説明や、志望校が奨学生制度の適用可能校であるかをお調べしますので、必ず説明会にご参加ください。説明会は全国各地で開催しておりますが、ご希望によりオンラインでの説明会も行っています。日程は随時下記のホームページやツイッターでも公開しています。まずは、お気軽にご参加ください。



<https://www.yomisho.com>



<https://twitter.com/yshougakukai>

読売育英奨学会  
HPはコチラ



## ②入会申し込み

終面に添付された奨学会入会申込書に、もれなくご記入・捺印いただき、読売育英奨学会まで送付してください。既卒の方は履歴書を同封してください。封筒には切手を貼り、必ず表面に「入会申込書在中」、裏面には「申込者の住所・氏名」のご記入をお願いします。進学する学校ごとに内定の判定をいたしますので、入会申込書に記載した志望校・学部・学科の変更については必ず奨学会にご連絡ください。

## ③内定

奨学会で書類審査の上、内定者には必要書類を送付しますので、内容に沿って手続きを進めます。まずは奨学会から送付した健康診断書書式に基づき医療機関で受診した3か月以内の健康診断書を奨学会に郵送していただきます(費用は自己負担)。結果によっては、入会をご相談させていただく場合もあります。

## ④学校可否結果を奨学会に連絡

進学校が決定したら、奨学会入会申込書に記入した学校・学部ごとの可否結果を速やかに読売育英奨学会までご連絡ください。

## ⑤入会手続き・学費の振り込み

書類手続きを経て、正式に入会となります。書類が受理されてから約2週間程度で奨学会が学校へ学費を支払います。奨学会へ提出する書類は以下の通りです。

A.誓約書 B.学費立替依頼書 C.印鑑登録証明書(保護者・連帯保証人) D.学校合格通知のコピー  
E.年間学費明細書のコピー(※1) F.学費振込書(本体)(※2) G.学校入学手続き書類一式(※3)

※1.読売理工学院は「入学手続き通知」のコピーを提出してください。 ※2.読売理工学院の振込書は直接、奨学会に届きますので提出の必要はありません。 ※3.学費振込受領書(振込明細書など)を学校に提出する場合のみ奨学会に提出。振込み後、奨学会から学校に送付しますので、住所・氏名・写真貼付・捺印など必要事項を全て記入して学校に出せる状態にし(学校指定の封筒があればそれに書類を入れて、封を締めない状態で)提出してください。

### ○奨学会から学校へ学費を支払う場合

上記のA~Gの提出書類を奨学会に提出してください。書類審査後、奨学会が学校へ学費を支払います。

学費振込受領書は振込み後、連帯保証人(保護者)宛に郵送し、学費立替依頼書の2、3枚目の保護者用、連帯保証人様用控えは在会奨学生全員の当年度学費を全て納入した後、それぞれに郵送します。

### ○ご自身から学校へ学費を一旦支払う場合

入会時の学費の振込は10月1日からはなります。すでに学費を納入している場合、学費納入締切り期日が短く奨学会からの納入が困難な場合、または10月より以前に振込が必要な場合は、一旦ご自身で学費のお支払いや入学手続きをしていただきます。

後日、上記のA~Eの提出書類に加えて「学費振込受領書本体(金融機関受領印のあるもの)、あるいは学校発行の領収書(※4)」と「学生本人、あるいは保護者・連帯保証人の銀行口座通帳のコピー(※5)」を奨学会まで提出してください。書類審査後、奨学会から学費納入分を本人あるいは保護者の口座にお振込み(※6)いたします。

※4.振込受領書本体(領収書)は奨学会手続き後、返送します。 ※5.通帳内の銀行名、本支店名、口座番号、口座名義人が記載されているページのコピー。保護者の口座の場合、奨学会の「学費立替依頼書」に記入いただいた方の口座に限ります。一部お取り扱いできない金融機関(ろうきん・ゆうちょ銀行不可)があります。 ※6.教科書、教材費などの自己負担分を含め学費納入している場合、自己負担分を除いた金額を振り込みます。

## ⑥入店YCが決定し、奨学生生活スタート!

年明け1月以降、奨学会から今後の日程案内を送付しますので、その内容に沿って準備を進めてください。

3月初旬には入店するYCが決定します。入店する日時などは各YCに相談してください。同月中旬には入会式・研修会を行います。入店後の業務に不安な方でも、最初のうちは所長や先輩奨学生も付き添いながら親切に指導してくれるから安心です。

### ◆応募の締め切りについて

締め切り日は設定していませんが、定員になり次第終了となります。志望校が決まった段階で、一度お申し込みいただくことをお勧めします。

### ◆志望校が複数の地域にまたがる応募について

東京、大阪、福岡に読売育英奨学会事務局があります。志望校に東京以外の学校がある場合でも、各地域の奨学生制度適用校であれば応募することができます。その際は、各事務局まで入会申込書をご提出ください。

### ◆立て替え時の保証人について

入会時、奨学会が学費を立て替えるため、所定書類に保証人2名の署名、捺印をいただきます。第一保証人は親権者、第二保証人は生計を別にする満20歳以上満65歳未満の保証能力のある方になります。

### ◆奨学会入会后に必要な書類について

在会期間中は年2回(5月、10月の発行日付のもの)、「在学証明書」を自費で取得し、奨学会に提出していただきます。

## 読売育英奨学会規定

①応募規定 1.心身共に健康であること。2.働きながら勉学に努め情熱とひたむきさを有する人。3.高等学校卒業(または卒業見込み)、またはこれに相当する学歴・資格を有する人。大学の1,2年生で、在学中の方。4.2023年4月1日時点で満18歳以上、申し込み時に満23歳まで。

②勤務する地域とYC 1.勤務地は東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の各都県。(仙台市・札幌市・名古屋市で若干の採用枠あり) 2.勤務先のYCは、通学時間などを十分考慮して奨学会が紹介する。

③奨学会年度 1.奨学会の年度は4月1日より翌年3月31日までとする。

④誓約書 1.奨学生は「読売育英奨学会規定」を遵守する「誓約書」を提出する。

⑤在学証明書 1.奨学生は在会中の毎年5月と10月の発行日付の「在学証明書」を自ら取得し定められた期日までに奨学会に提出する。

⑥年2回の健康診断結果の提出 1.奨学生は、年2回の健康診断を受診する。

⑦学費立替 1.学費は奨学生内定者が学校に合格、進学校が決定し、必要書類(学費立替手続きに必要な書類を参照)を奨学会に提出後、審査を経て奨学会が学校指定の口座に振り込む。2.奨学会が立て替える学費の内容は次の通りとする。(a.入学金、授業料、施設費、実習費、諸経費に限る。その他教材費、寄付金などは自己負担とする。b.予備校は入学金、本科授業料、諸経費に限る。その他は自己負担とする。c.教材費、寄付金等その他の自己負担金を奨学会が立て替えた場合、その金額を1年毎に支払うこと。支払期日は各年度の2月末までとする。) 3.奨学会からの学費立替は最短就学期間とする。4.奨学生在籍延長は奨学会とYC所長が認めた場合に限り、原則として1年のみ認める。但し超過金・自己負担金がある場合は、一旦精算することを条件とし、再度必要書類(下記書類④⑤⑦⑧)を提出する。

⑧学費立替手続きに必要な書類 ①健康診断書 ②誓約書 ③学校合格通知のコピー ④年間学費明細書のコピー ⑤学費振込書※読売育英奨学会は年間授業料の分割納付が可能な学校には、出来る限り分割納付を行う。奨学生は学校から届く後期・2期以降の学費振込書(学費納付書等)を速やかに奨学会に提出する。2年目以降も同様とし④の書類と共に提出する。⑥入学手続き書類一式※学費振込受領書を学校に郵送する必要がある場合のみ奨学会に提出する。⑦学費立替依頼書※学費立替依頼書は必要事項を本人が完全に記入し捺印する。連帯保証人2名は各連帯保証人本人が記入して実印にて捺印する。奨学生本人と連帯保証人の続柄は具体的に記入する。本人が奨学会在籍中に各連帯保証人の住所等記載内容に変更があった場合は速やかに奨学会に申告し所定の書類をもって届け出をする。⑧連帯保証人2名の印鑑登録証明書※1人目の連帯保証人は本人の保護者とする。2人目の連帯保証人は1人目の連帯保証人と生計を別にする日本国籍を有し日本国在住の満20歳から満65歳未満で収入があり且つ保証能力を有する者とする。各々の印鑑登録証明書を各一通添付する。印鑑登録証明書は3か月以内に取得したものに限り。読売育英奨学会は連帯保証人に対し、源泉徴収票などの収入を証明できる書類の提出を求める場合がある。

⑨奨学金(返済免除額) 1.奨学金として各年次、コースごとに立て替えた学費の返済免除額を定める。これを各年度の末日に適用する。2.返済免除総額を超える金額を奨学会が学費として立て替えた場合、学生はその差額(超過金)全額を奨学会卒業年度(最短就学期間)の2月末まで奨学会指定口座に一括で支払うものとする。3.在会中に奨学会が学費として立て替えた金額(自己負担金を除く)が、学校の年制、コースによって定められた返済免除総額内であれば、卒業年度の精算はない。4.学校の年制、コースによって定められた返済免除総額を在会中に奨学会が学費として立て替えた金額が下回った場合でもその差額の支払いは無い。

⑩学費立替の停止 奨学生が次の項目に該当する場合は、学費の立替を停止し奨学会を退会とする。立て替えた学費の支払いについては次項【途中退会における立替金の返済】に従う。1.勤務先のYCを辞めた時。2.素行不良および正当な理由なくYCの業務を放棄した場合。3.業務内容が著しく悪く、YCと読者に不利益を与え、改善が認められず奨学生として適当でないと、奨学会及びYCが判断した時。4.学校を退学した場合、除籍になった場合、休学(労災適用で止むを得ない場合を除く)した場合。5.指定した期日までに在学証明書が年2回(5月、10月に発行されたもの)提出されない場合。6.その他YCの就業規則に反する行いがあった時。7.自己負担金を奨学会が立て替えている場合で期日までに返済がない時。

⑪途中退会における学費立替金の返済 1.入会后1年未満(【奨学会年度】による)の途中退会者は、在籍日数にかかわらず、奨学会が立て替えた学費全額を退会時に一括で返済するものとする。自己負担金を奨学会が立て替えている場合も同様とする。2.初年度終了以降の途中退会者は、奨学会在籍期間によって定められた返済免除額を差し引いた金額を、退会時に奨学会に一括で返済するものとする。自己負担金を奨学会が立て替えている場合も全額同時に返済するものとする。3.途中退会における学費立替金・自己負担金の返済期限は、原則退職日(退店日)までとする。

⑫途中退会の場合の届出 1.奨学生が途中退会の場合、学生本人が「辞退届」を記入・捺印し、YC所長に提出する。2.YCは「辞退届」記入・確認後、読売育英奨学会・事務局に提出しなければならない。

⑬読売OB会会費 1.卒業時に読売OB会会費として5,000円を控除し(1年制は除く)、自動的に読売OB会に入会する。

⑭奨学会の業務コース 1.奨学生の業務コース申し込みはAコースまたはBコースから選択する。但し学校のカリキュラムにより規定の業務を行うと進級・卒業に支障が生じる場合に、奨学会・奨学生(要保護者の同意)・YCとの協議によりCコースやその他のコースに変更する場合がある。2.各業務コースの奨学金・待遇・給与に関しては本ガイドを参照。3.業務及び待遇・給与体系は入会年次の条件が学校の卒業まで続く。4.現在勤務する、YC所長の推薦と連帯保証により読売育英奨学会に入会する者の待遇は奨学金:年110万円、労働時間:週28時間、給与14万5278円(深夜労働割増賃金含む)、賞与なし、休日:4週4日、研修旅行への参加資格なし、その他はBコースと同様とする。

## 読売育英奨学会 推薦対象の専門学校一覧

読売育英奨学会が推薦する専門学校へ奨学生として入学する場合、  
特典として入学選考料と学生納付金内の入学金半額が免除されます。

### 学校法人 読売理工学院

文部科学省、経済産業省、総務省、国土交通省各種国家資格の養成・認定校

#### 読売理工医療福祉専門学校

〒112-0002 東京都文京区小石川1-1-1(地下鉄「春日」「後樂園」駅地下直結、JR「水道橋」駅より徒歩9分) TEL.0120-064-490

【適用学科(2年制)】▶放送・メディア系 放送映像学科/TVディレクター学科/クロスメディア情報学科 ▶工学系 電気電子学科/建築学科

#### 専門学校 読売自動車大学校

〒136-0071 東京都江東区亀戸2-28-5(JR総武線・東武亀戸線亀戸駅下車徒歩3分) TEL.0120-37-2959

【適用学科(2年制)】▶自動車整備学科

学校法人片柳学園は奨学会に入学願書を直接送付した場合、選考料は免除されます。

### 学校法人片柳学園 日本工学院専門学校

〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22(JR・東急 蒲田駅下車徒歩2分) TEL.0120-123-351

【適用学科】

放送芸術科/声優・演劇科/演劇スタッフ科/マンガ・アニメーション科四年制/マンガ・アニメーション科/CG映像科/デザイン科/コンサート・イベント科  
ミュージックアーティスト科/音響芸術科/ダンスパフォーマンス科/ITスペシャリスト科/AIシステム科/情報処理科/ネットワークセキュリティ科  
情報ビジネス科(秘書・事務コース/eビジネスコース)/電子・電気科/建築学科/建築設計科/機械設計科

### 学校法人片柳学園 日本工学院八王子専門学校

〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1(JR 八王子・八王子みなみ野駅よりスクールバス) TEL.0120-444-700

【適用学科】

放送芸術科(声優・演劇科)/マンガ・アニメーション科/ゲームクリエイター科/CG映像科/デザイン科/コンサート・イベント科/ミュージック  
アーティスト科/音響芸術科/ITスペシャリスト科/AIシステム科/情報処理科/ネットワークセキュリティ科/情報ビジネス科/ロボット科/電子・  
電気科/建築学科/建築設計科/機械設計科/土木・造園科

## オンライン説明会・個別相談

- ①専用フォームから必要事項を入力、またはお電話ください。
- ②説明会・相談の日時をご希望に沿って決定。担当者より操作方法・アクセス方法をご説明します。
- ③希望日時にオンライン説明会・個別相談を実施します。

お電話でのお申し込み

☎ 0120-430-116~7

ネットからのお申し込み

オンライン説明会専用フォーム

🌐 <https://www.yomisho.com/briefings/online>



## 読売育英奨学会

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1

☎ 0120-430-116~7

🌐 <https://www.yomisho.com>

🐦 <https://twitter.com/yshougakukai>

受付時間:月曜~土曜 AM9:00~PM5:30(日曜・祝日を除く)



## 大阪読売育英奨学会

〒530-8551 大阪府大阪市北区野崎町5-9

☎ 0120-430-881

🌐 <https://www.yomiuri-jinzai.com>

## 西部読売育英奨学会

〒810-8581 福岡市中央区赤坂1-16-5-7F

☎ 0120-4343-81

🌐 <https://sasatto.jp/adv/yomiiku.html>